

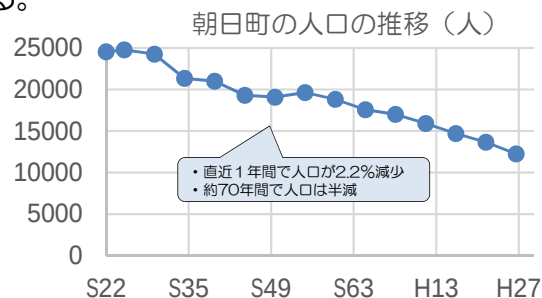
Point

農業研修を受講しながら生活できる宿泊施設を整備して、町外からの担い手を受け入れる体制を整え、若手後継者の育成と定住人口の確保を図る。

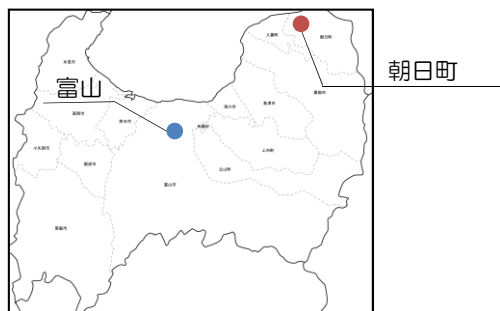
地域の課題

朝日町では直近1年間で、人口が2.2%減少している。また、高齢化率は、41.2%に達し、過疎と高齢化が進んでいる。

農業分野においても人・農地プランで地域の中心となる経営体に位置づけられている70経営体のうち、経営を担う代表者の年齢は、50歳以下が11人と若手後継者が少なく、集落営農組織も11組織あるものの、後継者の育成と確保が喫緊の課題となっている。

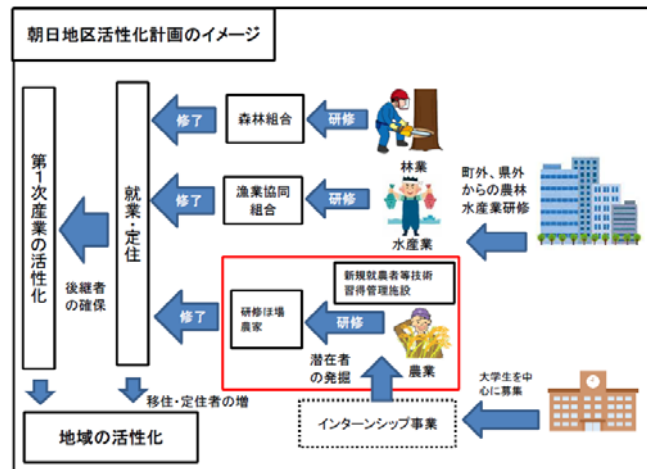


位置図



活性化計画

定住人口2人増



地区の課題を解決するため、町外から新たな人材を継続的・安定的に受け入れ、地区に馴染み、農業従事者として定住できるようサポートするために、共同生活を行いながら地域の暮らしに馴染む宿泊棟を備えた研修施設などを整備する。

また、宿泊棟・研修棟・実証圃場・農業ハウスを活用した担い手育成はもちろんのこと、1次産業を目指す大学生の農業インターンシップを実施し、都市部の大学と連携した学外授業を受け入れる。

さらに、移住・定住に向けた県主催の「富山くらし・しごと体験ツアー」など就業希望者向けの研修を実施し、将来は、運営主体を農業法人化するとともに、実証圃場やハウスでの収穫物を直売するなど、自主財源による運営を目指す。

交付金事業内容

事業期間：H29年から3年間

事業費：215,134千円（国費105,354千円）

事業目標：定住人口の増加（2人／年）

農林漁業インターンシップの実施
（12人／年）

事業主体：朝日町

事業内容：新規就農者研修宿泊施設 2棟 587.5㎡

新規就農研修宿泊施設（イメージ図）

